

2. 施設調書(管路等を除く水道施設の場合)

○浄水処理系統
○浄水場

水 源: 表流水 ○○川				施設能力: ○○ m3/日			
種別	項目	構造又は形式	数量	形質・能力・寸法・容量	設置年度	備考	
取水施設	取水塔	第1取水塔 第2取水塔			S63		
	取水渠						
	沈砂池						
	除塵設備						
	構内取水管						
	..						
浄水施設	急速砂ろ過池	1系砂ろ過池	RC構造、半地下	12池	内法幅 8.5m 有効幅 7.5m 内法長 11.0m ろ過面積 80m2 砂層厚 75cm 砂利層厚 35cm 集水装置 ホイラー形 標準ろ過速度 150m/D	S63	
		覆蓋		12組	分割形アルミ合金製覆蓋		
		砂ろ過池上屋	RC構造、平屋		延床面積 654m2		
		表面洗浄ポンプ	横軸両吸込渦巻きポンプ	2台	呼び径 400×300mm 全揚程 50m 吐出し量 1200m3/h 電動機出力 250kw		
		逆洗ポンプ吸水井	RC構造、半地下	1池	内法幅 15.4m 内法長 9.5m ろ過面積 80m2 水深 4.1m 有効水深 2.7m 集水装置 ホイラー形 標準ろ過速度 150m/D		
		洗浄排水ポンプ					
		..					
		洗浄排水溜					
		..					
	排水処理施設						
電気設備							
その他設備							

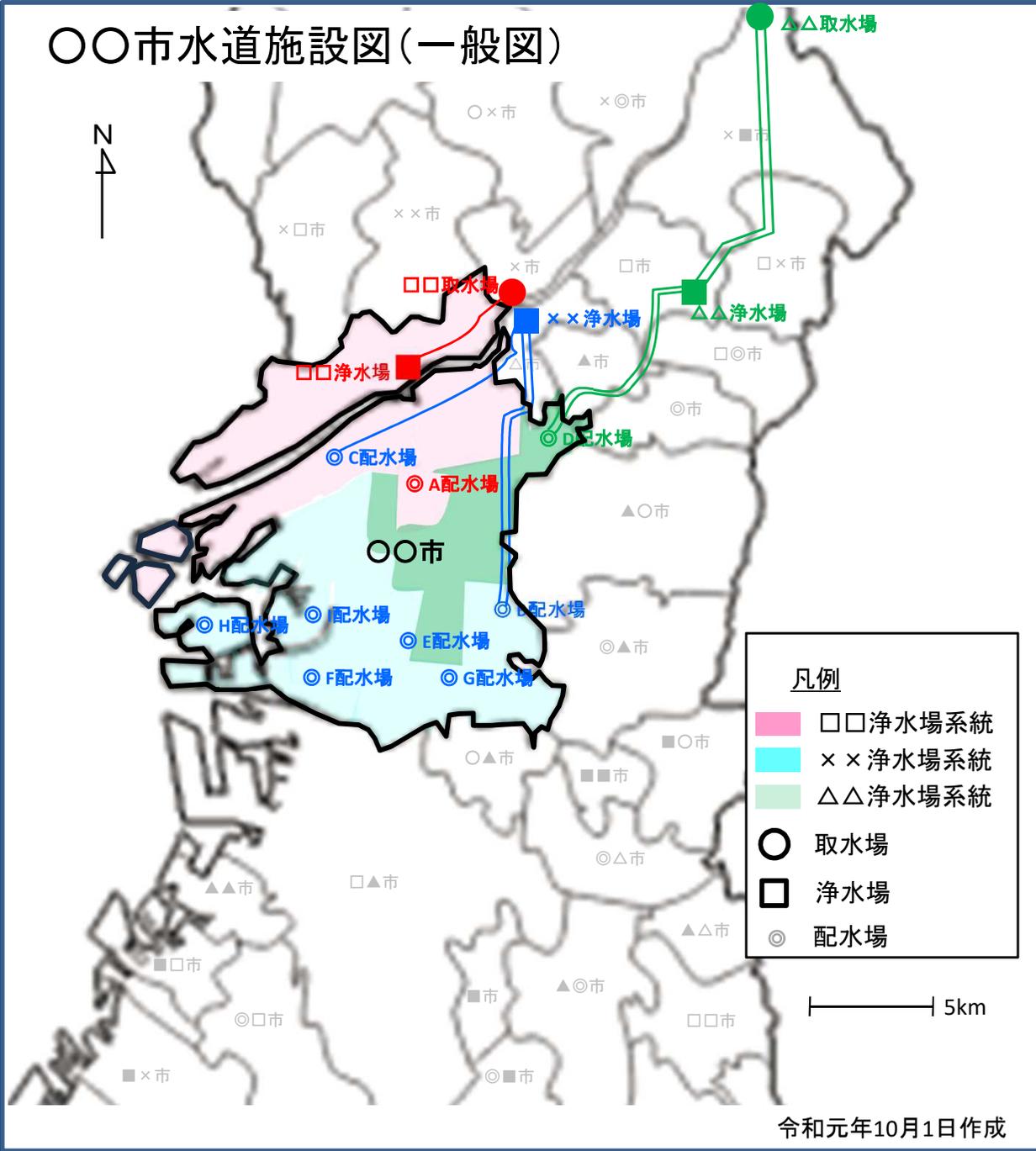
施設ごとに以下の諸元を整理

- 施設の名称
- 設置年度
- 数量
- 構造又は形式
- 能力

【補足】

- 設置年度欄に年月、年月日を記載することは差し支えない。
- 備考欄等に製造メーカー等の名称を記入するのが望ましい。
- 電子システムの属性情報等で把握している場合も、本調書が整備されていると見なす。
- データを適切に更新できるよう、施設平面図等と関連した形で管理することが望ましい。

3. 一般図



水道施設の全体を把握するため、以下の事項を記載する。

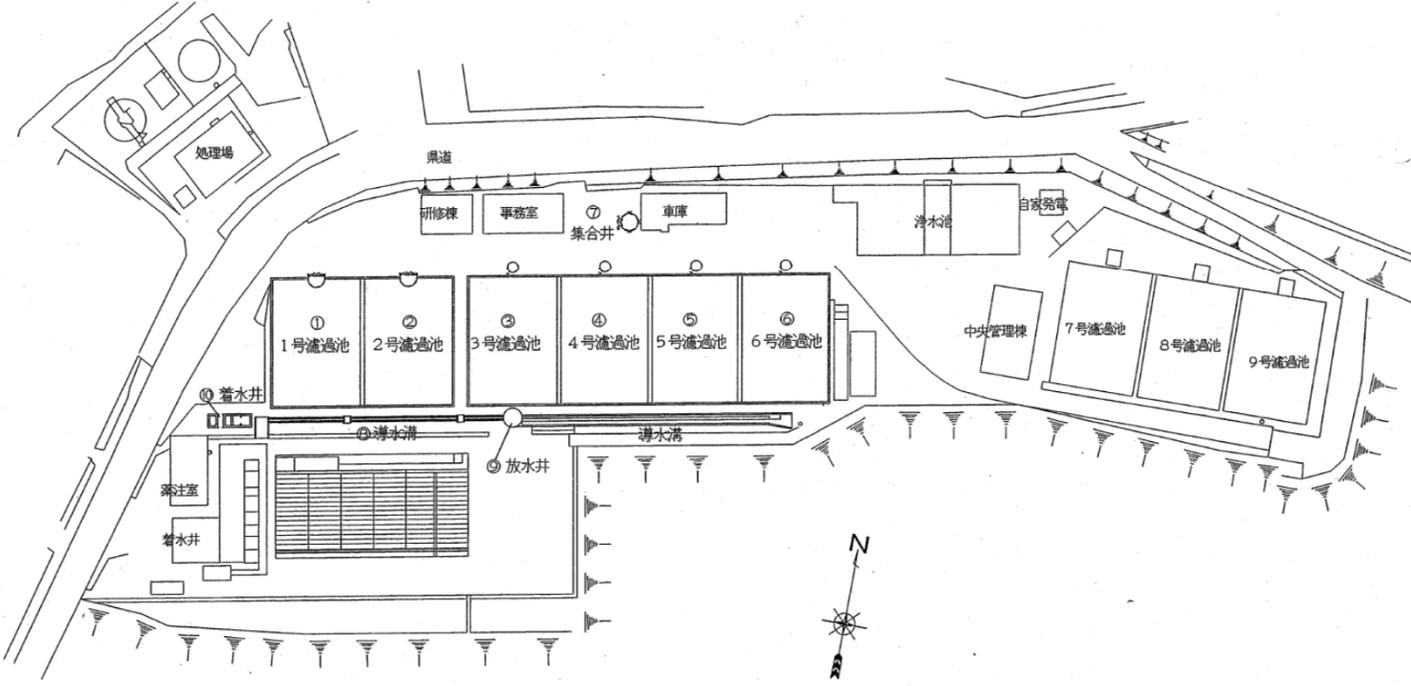
- ・市区町村名とその境界線
- ・給水区域の境界線
- ・主要な水道施設の位置及び名称
- ・主要な管路等の位置
- ・方位、縮尺、凡例及び作成の年月日

【補足】

- ・浄水場系統ごとに区域を色分けするなど、一般的な運用状況が把握できるようにするのが望ましい。
- ・縮尺や図面枚数等は事業規模に応じて適切に設定する。

4. 施設平面図(浄水場の場合)

施設の全体図

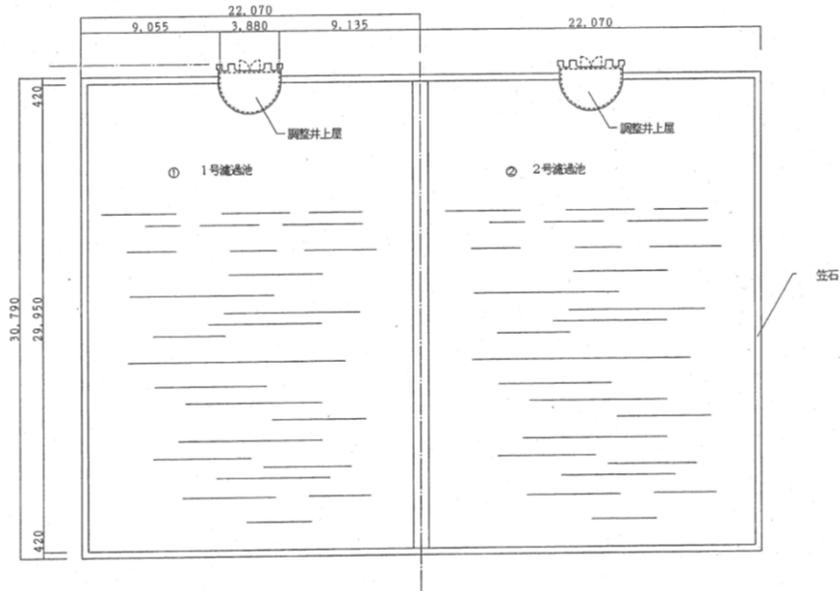


水道施設の設置場所や諸元を把握するため、以下の事項を記載する。

- 管路等の基本情報（管路等の位置、口径、材質）
- 制水弁・空気弁・消火栓・減圧弁及び排水設備の位置及び種類
- 管路等以外の施設の名称、位置及び敷地の境界線
- その他地図情報（市区町村名とその境界線、方位、縮尺、凡例及び作成の年月日、付近の道路・河川・鉄道等の位置）

主要施設個別の概要図

※ 上記全体図における
1、2号濾過池の例



【補足】

- 施設調書に記載の主な水道施設の配置が分かるよう作成する。
- 縮尺や図面枚数等は事業規模に応じて適切に設定する。
- 電子システムで情報把握している場合も、施設平面図が整備されていると見なす。

5. 施設平面図(管路等の場合)

管路等の設置場所や諸元を把握するため、以下の事項を記載する。

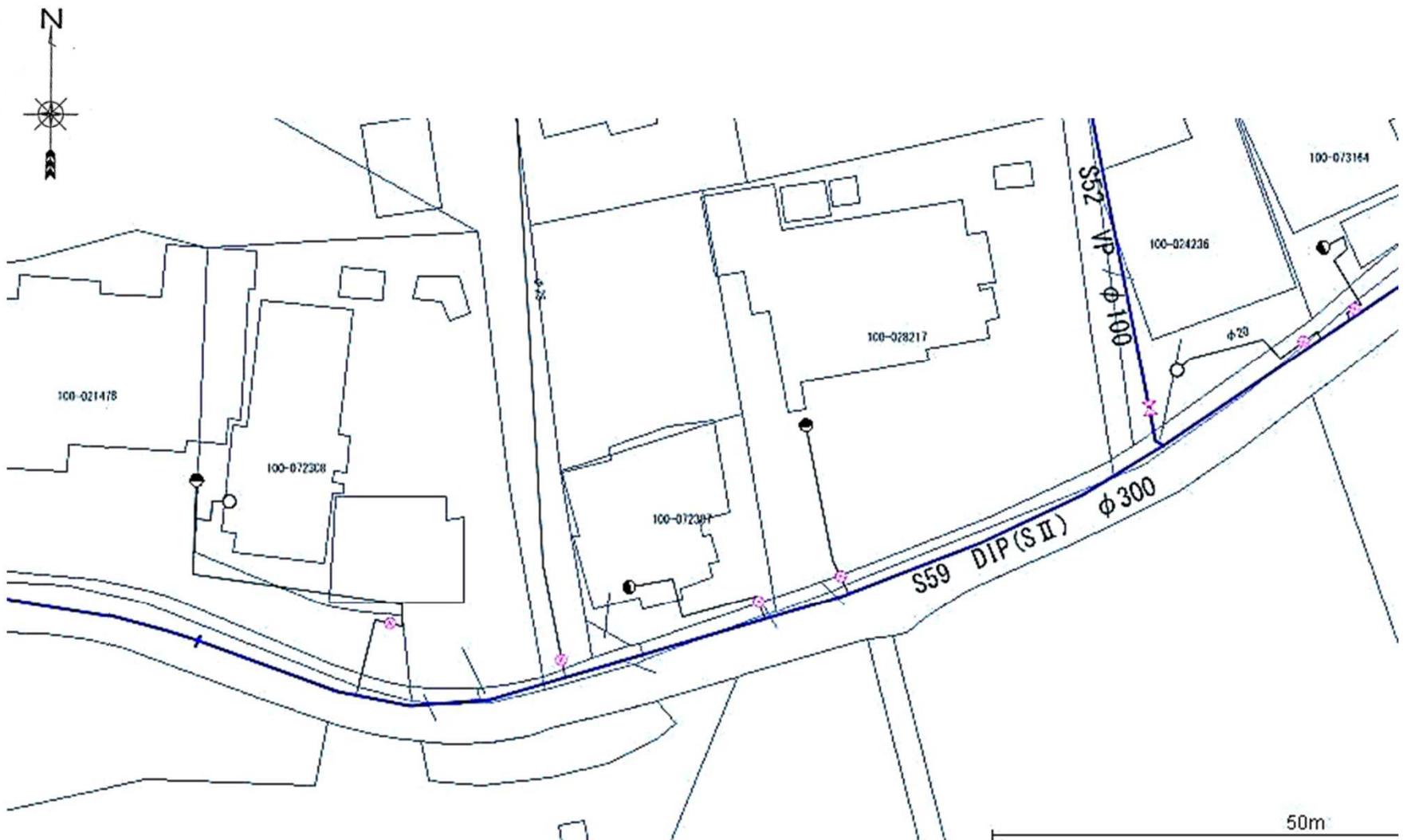
- 管路等の基本情報（管路等の位置、口径、材質）
- 制水弁・空気弁・消火栓・減圧弁及び排水設備の位置及び種類
- その他地図情報（市区町村名とその境界線、方位、縮尺、凡例及び作成の年月日、付近の道路・河川・鉄道等の位置）

【補足】

- 管路等調書に記載の情報との関連が分かるよう作成する。
- 縮尺や図面枚数等は事業規模に応じて適切に設定する。
- 電子システムで把握している場合も、施設平面図が整備されていると見なす。

凡例

仕切弁	仕切弁(デフォルト)		
	スリースバルブ		
	不断水仕切弁		
	不明仕切弁		
	不明スリースバルブ		
	減圧弁		
	逆止弁		
	電動弁		
	2次圧設定バルブ		
	消火栓	地下式消火栓(デフォルト)	
配水施設	地下式双口消火栓		
	庫口空気弁(デフォルト)		
配水池	双口空気弁		
	配水池		
ポンプ	ポンプ		
	ブースターポンプ		
交差点	通常交点(デフォルト)		
	管径変更点		
	管径変更点		
	管径+管径変更点		
	接続口(交点)		
	管末(栓止め)		
	管末(キャップ)		
その他	工区境(年度変更)		
	流量計		
メータ	13mmメータ(デフォルト)		
	20mmメータ		
	25mmメータ		
	40mmメータ		
	50mmメータ		
	75mmメータ		
	100mmメータ		
	板メータ		
	給水交点	給水交点(デフォルト)	
		給水管継ぎ	
管理変更点			
給水管末(栓止め)			
給水管末(キャップ)			
その他	工区境(年度変更)		
	止水栓		
背景	文書		
	水源(取水点)		
	浄水場		
	貯水罐(受水罐)		
	緊急貯水罐		
	水圧監視		
	塩素監視		
	防火水罐		
	水管機		
	さや管		
	事故点		
	調査地点		
災害時重要拠点			



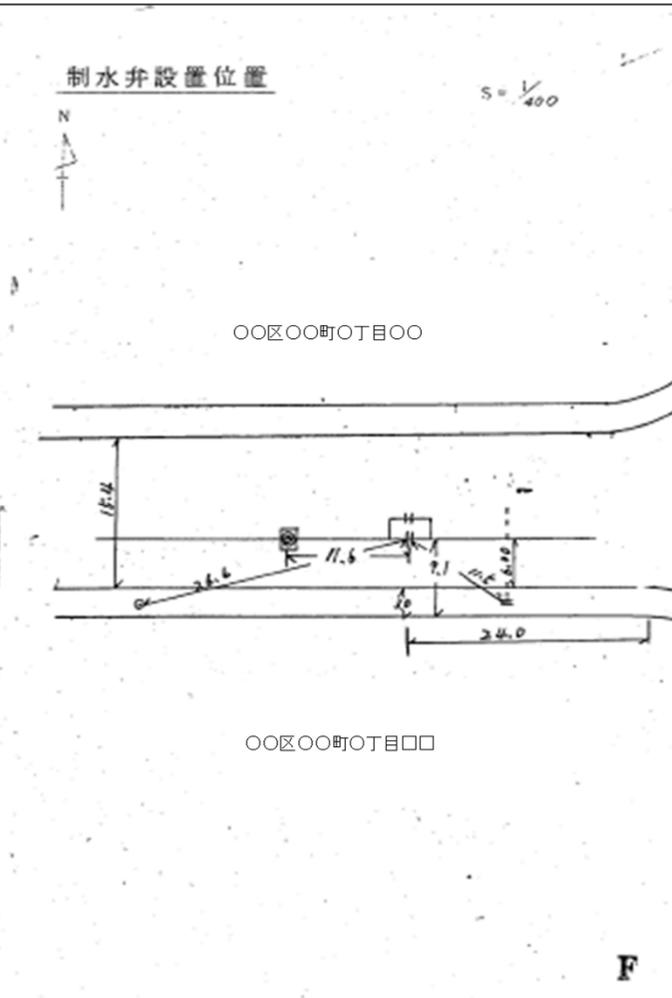
6. 形式を問わず整備すべき情報

一般図、施設平面図又はその他の図面のいずれかにおいて、以下の事項を記載する。

- 管路等の設置年度、継手形式及び土かぶり
- 制水弁、空気弁、消火栓、減圧弁及び排水設備の形式及び口径
- 止水栓の位置
- 道路、河川、鉄道等を架空横断する管路の構造形式、条数及び延長

○制水弁台帳として整備した例

制水弁台帳 (幹線)		K126 ○○事業所	
幹線名	○○○幹線	制水弁番号	322-070
場所	○○区○○町○丁目	管理図番号 および番数	20-53④7 20-52
口径	1350 副 250	材質	鋼板
回転方向	右開 副 右開	型式	懸型スレスレ
副・短・数	331 副 26	製造会社名	○○工業
設置年次		製造年次	5.29
制水弁室	寸法 450×310×440 弁室(総高) OP- 弁室(高さ) OP-	性能 A	1/20 管 17分
構造	弁室形状 丸大 丸小 弁室構造 極大 丸小	Cap 型 (主) 大頭 (副) 枝管 Cap 高 (主) 90 (副) 70	摘要
操作記録事項		検査欠乏調査	
操作年月日	開 閉 弁 員	調査年月日	記事
2.1.12	○開 ○閉 ○○	2.6.12	1.2.2%
年月日	整備または補修内容	係員	
2.1.12		○○	



幹線制水弁台帳(例)

制水弁V・消火栓H・空気弁A (幹線除く)		平成○年○月○日	
排水栓D・洗浄栓C・台帳		管理図番号	L-141
		弁番号	√147
		消火栓整理番号	
		切図・番号	
設置場所	(行政区コード) ○○区 ○○町○○丁目	口径・双口径 急 速	mm
材質	FC・FC 鋼板	型式 立型・横型・ソフ	線型()
制・消本体 の紛体塗装	有・無	制水弁用 継足の数	L= × 本 L= × 本
消火栓短管 の紛体塗装	有・無	消火栓用 短管の数	L= × 本 L= × 本
弁・栓室構造	(CB)調整用のCBの有・無 コンクリート タテ ×ヨコ ×タカサ	回転方向	右 開 左 閉
記事	フッ素樹脂コーティングボルトナット使用	路面からキャップ までの土被	0.38 m
		路面からフランジ までの土被	m
記 録			
年月日	内 容	年月日	内 容
H18.12.10	新設(ソフトシール)富都鉄工		
位置図縮尺 1/300		舗装種別	A08-20
		事業コード	

制水弁台帳(例)